

モロッコ経済日誌 2011年8月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①2011年上半期の貿易収支¹

輸入・輸出とも増加。前年同期比で輸入額は22.5%、輸出額は19.8%の増加。ただし、カバー率(輸出額/輸入額)は前年同期の48.6%から47.5%へ減少し、貿易赤字は拡大した。

	2010年上半期	2011年上半期	推移
輸入額(CAF)	145,551	178,232	22.5%
輸出額(FOB)	70,691	84,684	19.8%
貿易収支	▲ 74,860	▲ 93,548	▲25.0%
カバー率(輸出額/輸入額)	48.6%	47.5%	

(単位:100万DH)

(1)輸入: 原油、軽油・重油、石油ガス等のエネルギー関連品目および機械類、化学製品など全体的に増加。他方、自動車は減少。

エネルギー関連の輸入額増は価格の上昇に伴うもの。原油輸入量はやや減少(245万トン、前年同期253万トン、前年同期比3.3%減)したが、原油輸入価格が上昇(6176DH/トン、前年同期は4718DH/トン)した。また、軽油・重油については輸入量も増加(244万トン、前年同期169万トン)、同時に輸入価格も上昇したため(6526DH/トン、前年同期は5301DH/トン)輸入額が前年比で77.2%と大幅に上昇した。

主要輸入品目(単位100万DH)

品目	2010年 上半期	割合 (%)	2011年 上半期	割合 (%)	推移 (%)
軽油・重油	8,997	6.2	15,940	8.9	77.2
原油	11,959	8.2	15,147	8.5	26.7
石油ガス・その他ガス	6,490	4.4	8,198	4.6	26.3
麦	2,884	2.0	6,977	3.9	145.3
機械類	5,111	3.5	6,379	3.6	24.8
化学製品	4,248	2.9	5,498	3.1	29.4
プラスチック材料	3,878	2.7	5,311	3.0	37.0
自家用車	4,613	3.2	4,445	2.5	▲3.6
産業用車両	2,769	1.9	2,680	1.5	▲3.2

¹ モロッコ為替局ホームページ、www.oc.gov.ma

注)1DH(ディルハム)=約10円

麦の輸入額急増は、輸入量増加と輸入価格の上昇が要因。2010年上半期は157万トンを入力したのに対し、2011年上半期は229万トンと大幅増加。輸入価格も前年同期1837DH/トンから3035DH/トンへと高騰した。輸入元はフランス、カナダ、米国など。

(2)輸出

リン酸、肥料の1トンあたりの輸出価格が上昇し、輸出額増加に繋がった。リン酸・肥料が全体に占める割合は26.9%と4分の1以上に相当(前年同期は22.3%)。その他の品目では衣類・メリヤス類、トマト・果物も好調。ワイヤハーネスも増加。

品目	2010年上半期	2011年上半期	推移
リン酸・肥料	15,813	22,829	44.4%
リン酸関連以外	54,878	61,855	12.7%

(単位:100万DH)

- リン酸の平均輸出価格は1トン1,219DH(前年同期811DH)
- 肥料の平均輸出価格は1トン7,266DH(前年同期5,504DH)
- 衣類の平均輸出価格は1トン4,724DH(前年同期3,381DH)

主要輸出品目(単位100万DH)

品目	2010年上半期	割合(%)	2011年上半期	割合(%)	推移(%)
衣類	8,871	12.5	9,920	11.7	11.8
肥料	5,108	7.2	9,452	11.2	85.0
リン酸	6,819	9.6	7,653	9.0	12.2
ワイヤハーネス	6,095	8.6	7,482	8.8	22.8
リン酸	3,885	5.5	5,723	6.8	47.3
メリヤス類(靴下など)	3,219	4.6	3,591	4.2	11.6
甲殻類	2,383	3.4	2,759	3.3	15.8
トランジスター	2,393	3.4	2,658	3.1	11.1
魚缶詰	2,386	3.4	1,832	2.2	▲23.2
銅屑	853	1.2	1,608	1.9	88.4
果物(冷凍含む)	1,201	1.7	1,514	1.8	26.1
生トマト	1,131	1.6	1,459	1.7	29.0

(3)その他指標

前年同期比で観光収入、在外モロッコ人からの海外送金は増加。海外からの直接投資は減少。2006年～2010年平均より約30%の減少²。外貨準備高も約1割減。

	2010年上半期	2011年上半期	推移
観光収入	22,636	24,745	9.3%

² オジドウェイ・ル・マロク(8月15日)

在外モロッコ人からの海外送金	24, 939	26, 786	7. 4%
海外からの直接投資	12, 855	10, 927	▲15. 0%
外貨準備高(6月末)	192, 742	174, 144	▲9. 6%

(単位:100万DH)

②外貨準備高減少傾向(2001年から現在。輸入月数)³

外貨準備高が減少傾向。輸入月数で見るとここ10年で最低数字。

2001年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011.5月
8.8ヶ月分	9	9.6	9.2	8.8	8.9	7.9	6.1	7	6.9	5.56

③2011年上半期税収⁴

税収全体が増加。ただし、関税収入は減少。

歳入	2010年上半期	2011年上半期	推移
一般会計歳入	894億DH	983億DH	9. 9%
税収	792億DH	840億DH	6. 1%
直接税	336億DH	372億DH	10. 5%
→法人税	203億DH	234億DH	15. 3%
→所得税	123億DH	128億DH	4. 2%
間接税	336億DH	357億DH	6. 3%
→付加価値税	232億DH	251億DH	8. 2%
→国内消費税(たばこ・石油税など)	104億DH	106億DH	2. 0%
関税	64億DH	50億DH	▲20. 9%
不動産登記税・印紙税など	56億DH	61億DH	8. 7%
税収以外	89億DH	131億DH	47. 4%
専売公社・国営企業収益	58億DH	42億DH	▲28. 7%

(地方交付金分(TVAの30%)を除いた額)

④2011年第二四半期失業率⁵

・失業率:8. 7%(前年同期:8. 2%)

 都市部失業率:13. 5%(前年同期:12. 7%)

 農村部失業率:3. 6%(前年同期:3. 3%)

サービス業以外の分野では雇用数が減少。建築・公共事業で6, 500人、工業(手工業含む)で66, 000人、農林水産業では83, 000人の雇用数が減少した。他方、サービス業(商業、運輸、通信など)で125, 000人の雇用が創出された。

³ La Vie Eco(7月8日)

⁴ エコノミスト(8月2日)

⁵ モロッコ高等計画委員会(統計局),Haut Commissariat au Planホームページ

2. 建設・公共事業・インフラ等

①建設中の地域別社会住宅戸数⁶

2010年1月から現在まで一戸25万DHの社会住宅736,037戸の建設が決定。そのうち12.5%に相当する92,100戸が建設中であるが、建設中の半数以上がタンジェ、カサブランカに集中。

地域	戸数	地域	戸数
Grand Casablanca	25,660	Fès-Boulmane	9,803
Rabat-Salé-Zemmoour-Zaer	3,327	Région Orientale	1,680
Marrakech-Tensift-Al Haouz	3,289	Taza-Al Hoceima-Taounate	648
Tanger-Tétouan	23,697	Gharb-Charda Bni Hssen	3,164
Souss-Massa-Draâ	10,502	Chaouia-Ouardigha	5,576
Meknès-Tafilalet	3,980	Doukkala-Abda	780

②マラケッシュ空港 Best Regional Airports Africa 第2位⁷

イギリスに本拠地をおく航空輸送産業専門のリサーチ会社 Skytrax 社が実施した顧客サービスに関する国際空港評価「Best Regional Airports Africa 2011」で、マラケッシュ・メナラ空港が第2位にランクされた。1位は南アフリカ共和国のキング・シャカ空港、3位はエジプトのシャム・エル・シェーク空港。

3. 農業・漁業

①水産業の状況(2011年1月～7月)⁸

漁業高は約42万トンと前年同期比で32%の減少となった。種類で見ると、エビが多く、イワシが少ない結果となった。イワシは天候が悪く漁業に出られなかった日が多かったのと、5月にイワシ漁業関係者(アガディール、Dakhla)がストを行ったことに起因する。イワシの価格は通常より約20%上昇。イワシ・アジを含む沿岸漁業での漁業高は38万トンと前年同期比で33%減少した。

他方、エビの方は漁獲高が前年同期比105%増で4222トンとなった。価格は通常より40%安くなった。

4. 産業・エネルギー

①モロッコ・アルジェリア間天然ガス輸出入契約の調印⁹

⁶ La Vie Eco(7月29日)

⁷ エコノマップ、オーゾドゥイール・マロック(8月4日)

⁸ オゾドゥイール・マロック(8月18日)

⁹ 各紙報道(8月2日)

7月31日、アルジェリアの首都アルジェにおいてモロッコ電力公社ファシ・フィフリ総裁(M.Ali Fassi Fihri)とアルジェリア・ソナトラック炭化水素公団シュルワティ総裁(M.Nourredinne Cherouati)との間で「アルジェリア・モロッコ間天然ガス輸出入契約」の署名が行われた。

2011年9月より、アルジェリア天然ガスをスペインーモロッコーアルジェリアを繋ぐマグレブ・ヨーロッパ・ガスパイプライン(GMEパイプライン)を通してモロッコに10年間輸出するもので、年間の天然ガス輸出規模は6.4億立方メートル。

モロッコ電力公社が運営する「アイン・ベニ・マタール(Ain Beni Mathar)太陽熱天然ガスハイブリッド発電所(全体472MWでそのうち452MWが天然ガス発電)」と「タハダール(Tahaddart)ガス・コンバインドサイクル発電所(385MW)」の二箇所に供給する。二箇所の発電所は GME パイプラインから13キロメートルの距離に位置している。

モロッコは今までアルジェリア天然ガスを、アルジェリアからスペインに輸出する際の通行料として受け取っていたが、今回の契約で24時間稼働する二箇所の発電所の天然ガスストックを強化し、モロッコの電力需要に対応したい考え。2011年3月、ベンハドラ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣はモロッコ電力公社ファシ・フィフリ総裁と共にアルジェリアを訪問し今回の天然ガス輸出入契約交渉を開始し、今回の契約に至った。

②ワルザザート太陽エネルギー発電所の入札状況¹⁰

現在第1フェーズについての入札が行われているが、一次選考に残っていた4コンソーシアムは、いずれも期限内に技術についての提案を提出。今後は、ファイナンスも含めた最終提案を提出することになる。

5. その他

①国際通貨基金(IMF)による第4条協議の結果報告¹¹

7月7日から19日にかけて、IMFミッションによる第4条協議が行われた。IMFによるモロッコ経済に対する評価のポイントは以下のとおり。

・モロッコの経済情勢は概ねポジティブであるが、中期的に高い水準で安定的に成長を遂げるためには歳出の見直し、税制改革、ビジネス環境の改善が必要。

・経済成長率は非農業分野が農業分野の成長をカバーする形で4.5～5%を維持し順調。インフレ率も2010年は1%、2011年は1～1.5%になる見込みで非常にうまく抑制されている。

・経常収支に関しては、燐鉱石の輸出、観光収入、在外モロッコ人からの送金が好調とは言え、国際食料・原油取引価格の上昇に伴う輸入額の上昇をカバーするまでにはなっておらず、2011年は赤字が悪化し、5%程度の経常赤字になると見られる。

・外貨準備高は2011年末には輸入月数の5ヶ月強にまで減少するもののまだ余裕があると見て良いだろう。

¹⁰ エコノミスト(8月25日)

¹¹ IMF, concluding Statement of the 2011 Article IV Consultation国際通貨基金

・財政収支は間接税収入の増加、各省の予算10%の削減により、補助金大幅増加があるものの2011年の財政赤字はGDP比5.7%あたりに落ち着く模様。モロッコ政府はそれを中期的には3%にまで減少させ、国庫債務をGDP比50%程度に抑えたい考えであるが、対応策を取らなければ財政赤字は6.5~7.5%にまで上昇し、結果として国庫債務割合は増加するであろう。これを避けるためには、歳出見直し、税制改革といった取り組みが必要である。

②2010年の社会保険(CNSS)状況¹²

- ・社会保険加入者数:236万人(前年比7.3%増)
- ・給与総額:791億DH(前年比7.8%増)
- ・社会保険料収入:127億DH(前年比8.5%増)
- ・社会保険平均申告月数:9ヶ月(12ヶ月加入者は47%、3ヶ月以下は14%)
- ・加入者の平均月給:4150DH

③2011年上半期消費者融資など¹³

個人融資額が増加したが、自動車、家電ローンは減少。

	2010年上半期	2011年上半期	推移
融資総額	399億DH	412億DH	3.3%
自動車ローン	127億DH	124億DH	▲2.5%
家電ローン	7.8億DH	5.3億DH	▲31.8%
個人融資	257億DH	277億DH	7.5%
リボルビング	6.2億DH	5.5億DH	▲10.3%

④道路交通緊急戦略3カ年計画(2011年~2013年)¹⁴

新道路交通法が施行されたが、交通事故は増加。2011年7月の交通事故による死亡者数は374人と前年同月比で19.11%の増加。新道路交通法の徹底が課題となっている。そういった中、23日、道路交通緊急戦略3カ年計画(2011年~2013年)が採択された。強化する点としてスピード違反者への制裁の徹底、長距離トラック・バス運転手たちの休息の徹底、運転免許証試験制度、の見直し、都市部・農村部における交通ルールの周知などが含まれている。

⑤家電専門販売店「Electroplanet」販売店舗の拡大¹⁵

Marjane スーパーマーケットの系列である家電販売専門店「Electroplanet」が2011年にカサブランカに3店舗、アガディールに1店舗、サレに1店舗と合計6店舗を新規オープンさせる。同販売店

¹² エコノミスト(8月12日)

¹³ オジドゥイ・ル・マロク(8月28日)

¹⁴ エコノミスト(8月26日)

¹⁵ エコノミスト(8月29日)

はすでにカサブランカ、マラケッシュ、ラバト、タンジェ、モハメディア、ウジダに1店舗ずつ展開している。60メーカー、1600～2000の商品数を扱う。

⑥2011年上半期の固定・携帯電話、インターネット加入者データ(2011年6月末データ)¹⁶

携帯電話契約数およびインターネット契約数が順調に増加。

(1) 固定電話契約数:3, 646, 318(前年:3, 682, 748 前年比:1%増)

マーケットシェア:Wana(65. 62%), Maroc Telecom(33. 85%)、Meditel(0. 53%)

(2) 携帯電話契約数:34, 975, 000(前年同期:27, 879,000、前年比:25%増)

マーケットシェア:Maroc Telecom(48. 59%)、Meditel(32. 46%)、Wana(18. 95%)

(3) インターネット契約数:2, 345, 725(前年同期:1, 499, 505、前年比:56%増)

マーケットシェア:Maroc Telecom(57. 11%)、Wana(23. 90%)、Meditel(18. 99%)

⑦モロッコでの美容整形¹⁷

現在モロッコでは約80名の整形外科医が、特にカサブランカ、ラバトで月1000から1200件の美容整形手術を行っており、他国より料金が安価のためヨーロッパ、カナダ等からの外国人に対する手術が10から15%を占める。

¹⁶ L'Agence Nationale de Réglementation des Télécommunications(ANRT)ホームページ:ww.anrt.ma、エコノミスト(8月8日)

¹⁷ オピニオン(8月8日)

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①サンパウロ議定書 国会を通過¹⁸

11日に開催された閣僚会議において、サンパウロ議定書への批准が承認された。当議定書はモロッコ、インド、インドネシア、マレーシア、韓国、エジプト、キューバ、メルコスール諸国(ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ)ら11カ国の途上国・新興国間での特惠関税制度に関するもので、2010年12月15日にブラジルのフォスドイグアスで行われた閣僚級会合で合意された。

②韓国と共同で貿易分野研修パイロットプロジェクトを実施¹⁹

モロッコ輸出促進計画(Maroc Export Plus)の一環として、輸出促進庁(Maroc Export)が韓国と共同で貿易分野研修パイロットプロジェクトを実施する。2012年10月よりアルアハウイン大学およびラバト国際大学で貿易学のコースを開講し(大学、大学院レベル含む)、他の大学、研究機関にも開講していく考え。輸出促進庁は国際貿易見本市への出展、貿易市場の視察などを行ってきたが、人材研修は開始していなかった。輸出促進計画は、2010年から2018年まで年間200社ペースの割合で輸出業者を増加させ、輸出高については、2015年までに2倍、2018年までに3倍(いずれも2008年比)とし、2018年までに30万の雇用を創出することを目指すもの。

韓国の貿易分野での効率性のノウハウを獲得するため、関係者16名(主に貿易省、同庁、大学関係者)が韓国で二週間の研修を受けたばかり。FTA戦略、ビジネス(契約・交渉)、国際市場(市場分析方法など)などを学んだ。

2. 外国企業との関係

①イタリア Meridionale Impianti 社 モロッコで太陽光発電パネル製造工場建設準備²⁰

イタリアのエネルギー関連企業 Meridionale Impianti 社のラッファ社長は、モロッコでの太陽光発電パネル製造工場建設の予定があり、条件がそろえばそれを使った太陽光発電、電力輸出にも関心があると発言。同社はこれまでもONE(モロッコ電力公社)が実施する10件の高圧送電設備建設(7件は建設済み、3件は2011年末までに完成。契約総額1億5000万DH)に関与している。

②米国ロッキード・マーチン社からモロッコへ戦闘機F-16の納入²¹

2008年に米国ロッキード・マーチン社に発注された戦闘機F-16 24機のうち第1期分として4機が、8月4日モロッコに納入された。これら4機はエレクトロニクス装備とレーダー付で、残りの20機のうち7機は2012年初期に納入、残る13機もその数ヶ月後に納入予定。装備、サービス、パイロット研修も含め、モロッコ・アメリカ間で締結された当契約の支払い総額は24億ドルといわれる。当

¹⁸ エコノマップ(8月15日)

¹⁹ エコノミスト(8月18日)

²⁰ エコノミスト(8月3日)

²¹ エコノマップ(8月5日)、オピニオン(8月8日)

初競争相手であったフランスのダッソウ・ラファール戦闘機を押さえての納入であった。引渡し式典は、マラケッシュの北部ベングリール基地にて、モロッコ軍、アメリカ軍の代表者、マラケッシュ州長、在モロッコ米国大使等の出席のもと行われた。

③フォーシーズンズ・ホテル マラケッシュにオープン²²

世界各国に展開している国際的なホテルチェーン、フォーシーズンズ・ホテル (Four Seasons Hotels, Inc.) が、3年の準備期間を経て9月にマラケッシュにオープン。投資総額は17億6千万DH。当社86棟目のホテルとなる。カサブランカにもモロッコで2棟目のホテルを建設中。

④Panafsat 通信衛星計画²³

モロッコ、アルジェリア、リビア、モリタニア、チュニジアのアラブ・マグレブ連合 (l'UMA : l'Union du Maghreb arabe) 諸国のイニシアチブにより、アフリカ諸国を結ぶ Panafsat 通信衛星を軌道に乗せる計画が発表された。通信衛星第1号の打ち上げは2014年はじめの予定。計2基の衛星を打ち上げる予定で、投資総額8億ドル～10億ドルになる見込み。

⑤日本たばこ カサブランカに支店を開設²⁴

日本たばこ産業株式会社 (JT) (現在たばこ業界で世界第3位の企業であり、世界シェア11%) の海外たばこ事業を担う JTI - Japan Tobacco International が、カサブランカに支店を開設、モロッコ市場への直接販売を開始する。JTI はこれまで11年間、Impérial Tobacco - Altadis Maroc 社を通してモロッコへたばこを販売してきたが、2010年12月に当社の独占販売が終わった事により、今後は JTI が直接販売を行うこととなる。

3. 経済協力

①欧州連合 モロッコへの援助のため2011年度総額15億7200万DHの予算を決定²⁵

- アルホセイマ地方の社会経済発展のため2億1500万DH。
- 男女平等プログラムへ3億9600万DH。
- モロッコの前進的地位 (statut avancé) における目的実現のため9億6100万DH。

²² エコノミスト(8月9日)

²³ エコノミスト(8月22日)

²⁴ エコノミスト(8月29日)

²⁵ エコノマップ(8月12日)